

一般注意事項：

表面処理、混合と塗布方法の説明

- 長期にわたるARC CS4システムの性能にとって適切な表面処理が非常に大切です。
- 準備されたコンクリート面は構造的に強固で、汚染が皆無となり、ICRI CSP 3プロファイル（#60グリットサンドペーパーの仕上げに類似）まで粗くする必要があります。ARC 797プライマーといっしょに使った場合、表面は湿っていてもいいが、濡れていてはなりません（水が溜まっている）。
- ARC CS4は、ARC 797プライマーを使うことなく湿ったコンクリートに塗布できます。
- スラプオングレードでは、ペーパーバリア（防湿気密層）が必要です。ペーパーバリアがない場合、透湿性をチェックしてください。
- 表面処理と塗布の詳細は、コンクリート用のARC塗布手順を参照するか、ARC専門家までお問い合わせください。

表面洗浄とプロファイル作成方法

ハイドロブラスト	表面の傷つけ
スチールショットブラスト	乾式研磨ブラスト

古いコンクリートに固有：
すべての表面汚染を完全に除去します：

古いコーティング	塵芥	レイタンス
水溶性塩	砕けたコンクリート	疎水性汚染物質

- コンクリート面を乳化アルカリ、水溶性クリーナーでグリース、オイル、アカを除去し、完全に洗い流します。
- 上記の表面洗浄方法の1つまたは複数を使用します。

新しいコンクリートに固有：

- 新しいコンクリートは準備する前に28日以上硬化させる必要があります。
- 上記の表面洗浄方法の1つまたは複数を使用します。

ARC CS4システムキット：混合

混合および塗布しやすくするために、材料温度を21°~32°Cとします。各キットは正しい混合比率でパッケージされています。さらなる配分が必要な場合は、各キットを正しい混合比に従って使用します。

混合比	重量比	容積
A : B	2.3 : 1	1.7 : 1

ARC CS4を混合する前に、パートAを予め混合し、そこに溜まっている強化剤を混ぜ込みます。

- 手作業で塗布する場合、パートBをパートAに加えます。手で1分間混ぜます。この混合物を少量パートB容器に戻し、この容器の内壁から残りのコンポジットをこさぎ取ります。これをパートA容器に戻します。
- 均一に混ぜり合って、縞模様がなくなり、色と濃度が一樣になるまで混合します。動力混合は、空気を混入させない「Jiffy」ブレードなどを付けた可変速度、高トルク、低速ミキサーで行います。
- 製品は定められた作業時間内に塗布できるよりも多い量を混合しないでください。

ARC CS4システムキット：塗布

- 直射日光に晒されることで温度が上昇しているコンクリート面にARC CS4その他のコーティングを塗布する場合にも、ガス抜けによる気泡ができる可能性があります。コンクリートが毎日の最大表面温度を超えて冷却が始まった後にコーティングをするのが最適です。

- 塗布温度範囲が10°C~32°C（基材）

- ARC CS4は、ノッチ付きヘラ、スプレーシステム、ブラシ、またはリントフリーの短毛ローラー（モヘアなど）を使用したローラーにより塗布できます。浸漬や液漏れに対する最大の保護を提供するために、2コートシステムが推奨されます。
- 浸漬や液漏れに対する最大の保護を提供するために、2コートシステムが推奨されます。機器の仕様と推奨については、最寄りのARC販売店にお問い合わせください。初回のコーティングを75~125 μmで塗布します。これを繰り返して最終的な第1コートに必要な厚さを達成します。
- 垂直表面上での垂れを回避するために、1コートあたりの最大湿潤膜厚さは250 μm~375 μmとします。
- ARC CS4の複数コートを塗布する場合、膜に汚染がなく「軽荷重」状態以上に硬化していない限り追加的な表面処理は不要です。下の硬化スケジュールチャートをご覧ください。この状態を超えた場合、軽くブラスト処理するか研磨してから研磨カスを除去する必要があります。

塗布面積/拡散レート

	500 μm
5リットル	10.00 m ²
16リットル	32.00 m ²

可使用時間 - 分

	10°C	16°C	25°C	32°C
5リットル	65分	50分	35分	20分
16リットル	45分	35分	20分	10分

「可使用時間」は混合を始めた時点から始まります。最低塗布温度は16°Cですが、塗布しやすい温度は25°Cです。

硬化スケジュール

	10°C	16°C	25°C	32°C
通行量	16時間	12時間	10時間	6時間
軽荷重	36時間	24時間	16時間	9時間
全荷重	64時間	40時間	30時間	20時間
全薬品耐性	180時間	140時間	100時間	80時間

材料が「通行」に達した後の65°Cでの強制硬化により、硬化時間が8時間と通行時間ほど短縮されます。

洗浄

ツールは、市販されている溶剤（アセトン、キシレン、アルコール、メチルエチルケトン）を使用し、使用後直ちに洗浄してください。硬化した後は、機械的に研磨する必要があります。

保管

推奨される保管温度範囲は10°C~32°Cです。輸送中に時折この範囲から逸脱することがありますが、これは使用前に室温まで上昇させる限り問題ありません。保管期間は未開封容器で2年です。使用する前に各液体成分を十分に混合してください。

安全性

どの製品を使用する場合にも、その前にご使用の地域に適用される安全データシート（SDS）または安全シートをお読みください。適切な場合、標準的な密閉空間立入りおよび作業手順に従うようにしてください。

保管寿命（未開封容器内）：2年間 [乾燥した冷暗所で10°C~32°Cの温度で保管]